

平成 21 年 3 月 守口市教育委員会臨時会

○ 日 時 平成 21 年 3 月 6 日 (金) 午前 10 時 00 分～午後 0 時 26 分

○ 場 所 市役所 1 号別館 3 階 第 2 委員会室

○ 出席者

教育委員

委員長	網 倉	尚 武
委 員	中 出	政 吉
委 員	奥 田	吾 朗
委 員	安 藤	佳 江
委 員 (教育長)	藤 川	博 史

事 務 局

教育次長	加 道 優	管理部長	楠 本 隆
指導部長	中 村 良 三	生涯学習部長	入 江 利 廣
中央公民館長	中 居 隆 司	総務課長	村 田 康 博
教育施策推進課長	多井中 慶 司	教育・人権指導課長	南 親 宏
生涯学習課長	村 田 佳 文	スポーツ・青少年課長	松 岡 千代和
放課後こども課長	南 文 裕	教育センター長	福 岡 知 子
中央公民館参事	前 中 博 雅		
ほか担当職員			

○ 審議内容

議案第 10 号 公立幼稚園の運営に係る基本方針 (案) について

【説明要旨】

基本方針案は 19 年度に開催した守口市幼児教育振興審議会の答申を受け策定したものである。基本方針の主旨には、公立幼稚園の活性化、効率的運用を図るため今後取り組むべき課題として (1) 小学校との連携 (2) 子育て支援活動の推進 (3) 教職員の適正配置 (4) 公立幼稚園の適正規模・配置が明記された。

基本方針の考え方は園児にとって、望ましい教育環境の充実に図ること、公立幼

稚園の規模及び適正化、組織的・計画的な幼稚園教育の充実を図ることを述べている。基本方針の4つの柱は取り組むべき課題について述べ、実施時期を21年度からと記載している。

- 1、小学校との連携については、園児・児童の相互交流の機会を増やすとともに幼稚園と小学校との意見交換や合同の研修機会を設けること。
- 2、子育て支援活動の推進については、子育て支援センター等の関係機関と連携し、未就園児を含めた子育て支援の役割を果たすこと。
- 3、教職員の配置については、バランスの取れた年齢、構成となるよう、採用方法を検討すること。特別な支援を要する園児について体制を整えるとともに、効率的な人的配置を進めること。
- 4、公立幼稚園の適正規模・配置については、教育面から集団での遊びや学習が十分に行える20名以上と明記するとともに、きめ細やかな教育を行うため、学級定員の見直しの検討、将来の園児数を予測した上で幼稚園の定数の見直しの検討を図ること。

公立幼稚園の適正規模に係る実施計画（案）については、

- 1、公立幼稚園の適正規模については、将来の幼児人口を考慮した上で、一学年20名未満の園を廃園したいと考えている。
- 2、幼稚園の学級定員については、きめ細やかな教育を行うため、現行の4歳児33名、5歳児35名から両学年とも30名にしたいと考えている。
- 3、実施計画については守口市立ふみぞの幼稚園、やくもひがし幼稚園については、21年度は4歳児の募集を行わず、22年度は5歳児のみの就園とし、23年度に再編成したい。

この実施計画（案）については条例改正を視野に入れながら調整を行うこともあり、現時点では（案）を残したままにしたいとするもの。

【審議状況】

公立幼稚園の運営に係る基本方針（案）について、公立幼稚園の全般的なあり方、幼保一元化の問題、基本方針決定後の保護者、地域、幼稚園に対しての説明、今後の実施計画案の手順等の質疑を経て、一部修正を加え、原案どおりの内容で議決した。

○ 審議内容

議案第11号 平成20年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査守口市の結果概要
報告第5号 要と「守口市体力・運動能力、運動習慣等改善重点プラン（案）」について

【説明要旨】

本年度行われた全国体力・運動能力、運動習慣等の調査について、その結果と分析、そこから見えてきた課題とその改善方策について説明。

目的

- 1、国が全国的な状況を把握し、体力向上に係る施策の成果と課題を検証し、改善を図ること。
- 2、教育委員会や学校が全国的な状況との関係において成果と課題を把握し、改善を図るとともに継続的な検証改善サイクルを確立すること。
- 3、各学校が児童生徒の体力、生活習慣、食習慣、運動習慣を把握し、指導の改善に役立てること。

調査内容については、実技が新体力テスト 8 項目、他に質問肢調査があり、調査対象は小学校 5 年生と中学校 2 年生であり、本市の参加状況は、小学校が 9 校、中学校が 5 校であった。

状況としては、5 年生の男女の立ち幅跳び、上体起こし、5 年生女子のソフトボール投げ、中学 2 年生女子の上体起こし、長座体前屈は良い結果であったが、反面、握力については、いずれも大阪府、全国を下回っていた。また、5 年生の男女、中学 2 年生の男子については、50m 走が大阪府、全国を下回っているものの、中学 2 年生女子は大阪府よりも上回っていた。

次に、質問肢調査の中で、朝食、睡眠、テレビの視聴時間と体力の関係については数字としては見られないが、運動に対する意識調査、運動時間や運動の頻度についての関係性が見受けられた。

これらの結果と分析に基づき、課題と解決と状況の改善を目指し、「守口市 体力・運動能力、運動習慣等改善重点プラン（案）」を作成したものである。

これは、この調査から見えてきた問題の解決のために、運動好きな子どもの育成、体力・運動能力の向上、運動習慣の定着を 3 つの重点目標として、これらを相互関連的に、子どもたちの運動状況や体力の状況を改善していくものとして捉えたものである。

【審議状況】

平成 20 年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査に基づいてその結果の分析を行い、そこから見えてきた課題とその改善策についてまとめ、「守口市 体力・運動能力、運動習慣等改善重点プラン（案）」について質疑の後、文言を見直し、原案どおりに可決した。